

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

調 査 結 果

1	調査の概要	1～2 ページ
2	体格・肥満に関する調査結果	2 ページ
3	実技に関する調査結果	3～4 ページ
4	質問紙調査の結果	5～7 ページ
5	総括	8～9 ページ

令和7年3月

羽幌町教育委員会

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査の対象

【小学校調査】 小学校第5学年 【中学校調査】 中学校第2学年

(3) 調査の方法

悉皆調査

(4) 調査の実施期間

令和6年4月から令和6年7月末までの期間

(5) 調査内容

①児童生徒に対する調査

ア．実技に関する調査

【小学校】

8種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校】

8種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※ 中学校では、20mシャトルラン、持久走のいずれかを選択して実施

イ．質問紙調査 運動習慣、生活習慣等に関するもの

②学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの

③教育委員会に対する質問紙調査

子どもの体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの

※ 「教育委員会に対する質問紙調査」は、この結果報告に含めない。

(6) 実施校

小学校 3校（羽幌小学校、天売小学校、焼尻小学校）

中学校 3校（羽幌中学校、天売中学校、焼尻中学校）

※焼尻中学校は、調査対象学年に在籍する生徒が不在のため学校質問紙調査のみ実施

【用語説明】

用語	解説																		
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な 10 点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8 種目の結果を合計した得点(80 点満点)																		
T 得点	全国平均値に対する(相対的位置全国平均を 50 としたときの数値)を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較できる。																		
総合評価	体力合計点の高い順に A～E の 5 段階で評価 〈総合評価基準表〉																		
	<table><tr><th>段階</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th></tr><tr><td>小学校 5 年生</td><td>65 以上</td><td>58～64</td><td>50～57</td><td>42～49</td><td>41 以下</td></tr><tr><td>中学校 2 年生</td><td>57 以上</td><td>47～56</td><td>37～46</td><td>27～36</td><td>26 以下</td></tr></table>	段階	A	B	C	D	E	小学校 5 年生	65 以上	58～64	50～57	42～49	41 以下	中学校 2 年生	57 以上	47～56	37～46	27～36	26 以下
	段階	A	B	C	D	E													
	小学校 5 年生	65 以上	58～64	50～57	42～49	41 以下													
中学校 2 年生	57 以上	47～56	37～46	27～36	26 以下														

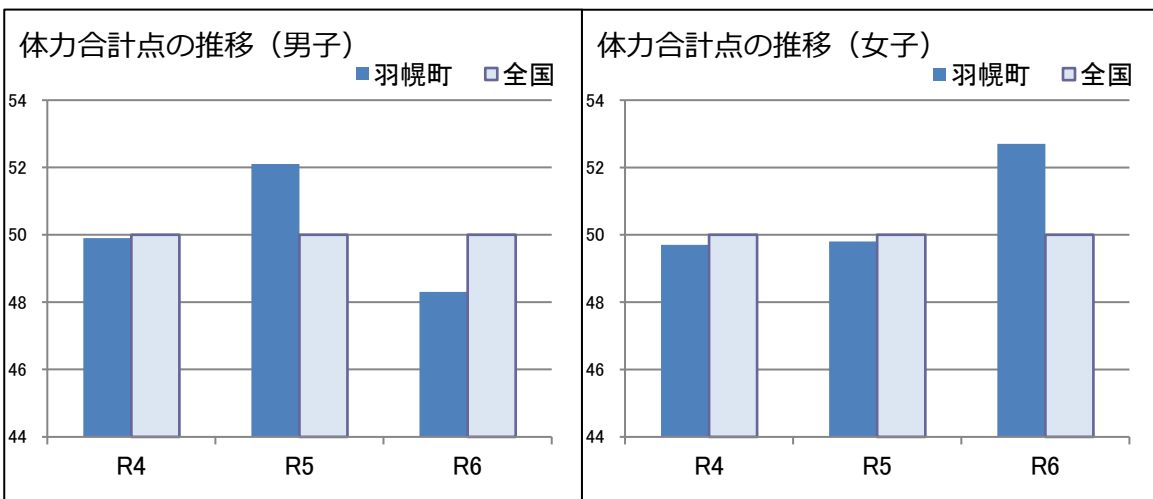
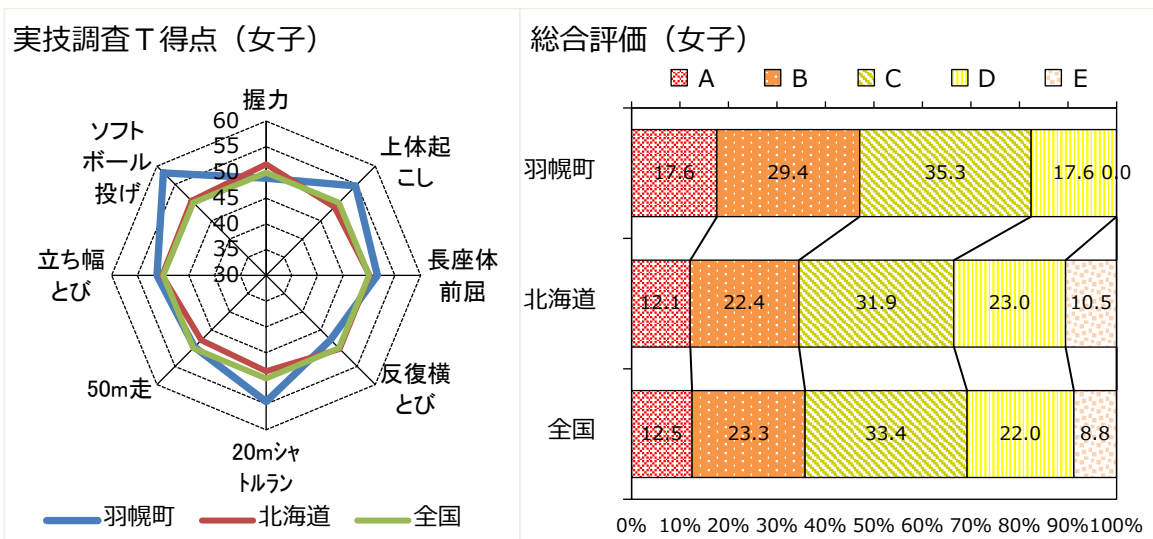
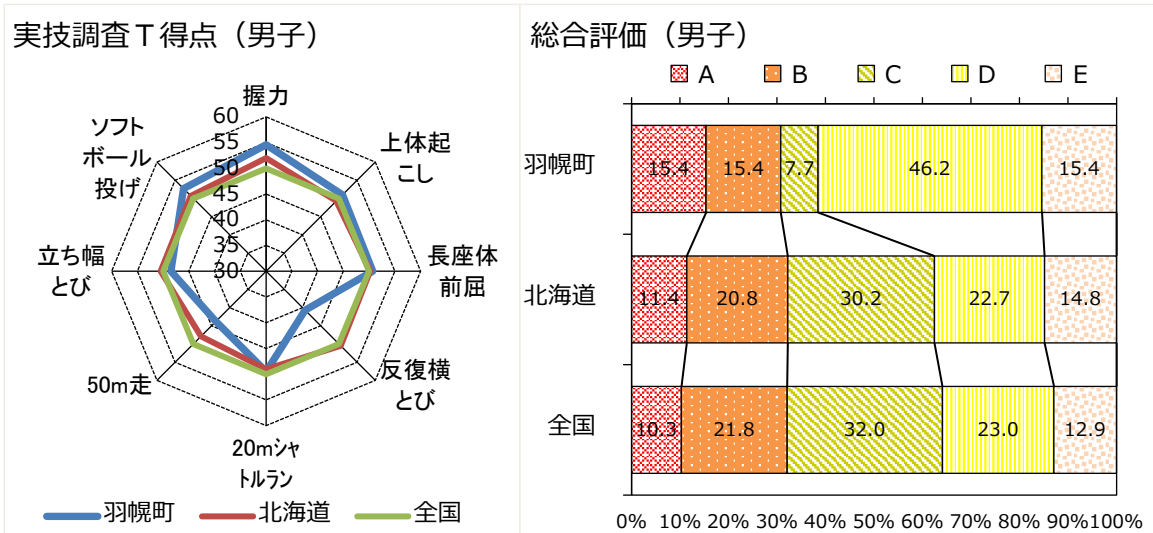
2. 体格・肥満に関する調査結果 ※【 】は全国との比較

区 分		身長平均値 (cm)	体重平均値 (kg)	肥満・痩身傾向児の出現率 (%)		
				肥満	普通	やせ
小学校 5 学年 男子	羽幌町	140.37【↑】	39.36【↑】	26.6【↑】	73.3【↓】	0.0【↓】
	北海道	140.12【↑】	36.88【↑】	19.5【↑】	78.1【↓】	2.5【↓】
	全 国	139.53	35.16	13.3	83.8	2.9
小学校 5 学年 女子	羽幌町	140.04【↓】	33.22【↓】	0.0【↓】	94.1【↑】	5.9【↑】
	北海道	141.69【↑】	36.24【↑】	14.0【↑】	82.9【↓】	3.1【→】
	全 国	140.96	34.92	9.7	87.2	3.1
中学校 2 学年 男子	羽幌町	164.48【↑】	54.10【↑】	13.0【↑】	87.0【↑】	0.0【↓】
	北海道	162.15【↑】	52.00【↑】	13.6【↑】	83.1【↓】	3.3【↓】
	全 国	161.29	50.10	10.1	86.4	3.5
中学校 2 学年 女子	羽幌町	155.68【↑】	48.36【↑】	12.6【↑】	87.5【↓】	0.0【↓】
	北海道	155.30【↑】	47.52【↑】	9.2【↑】	86.5【↓】	4.4【→】
	全 国	155.03	46.77	6.9	88.8	4.4

3. 実技に関する調査結果

(1) 実技に関する小学校調査の結果

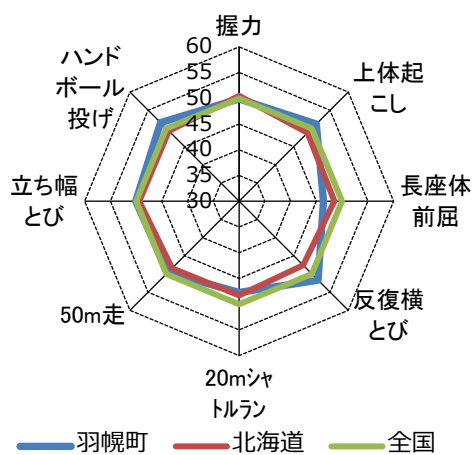
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目を実施



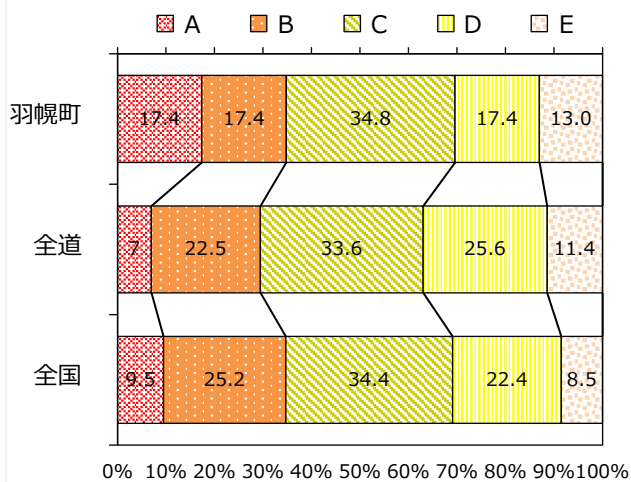
(2) 実技に関する中学校調査の結果

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの8種目を実施

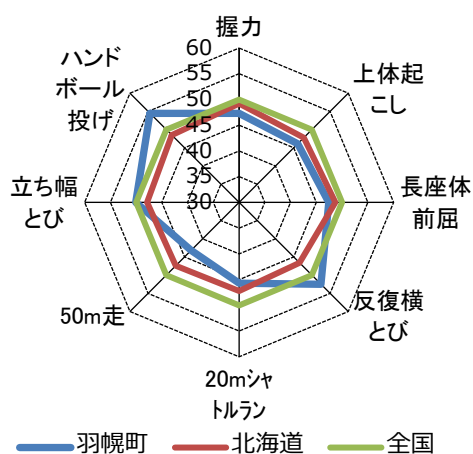
実技調査T得点（男子）



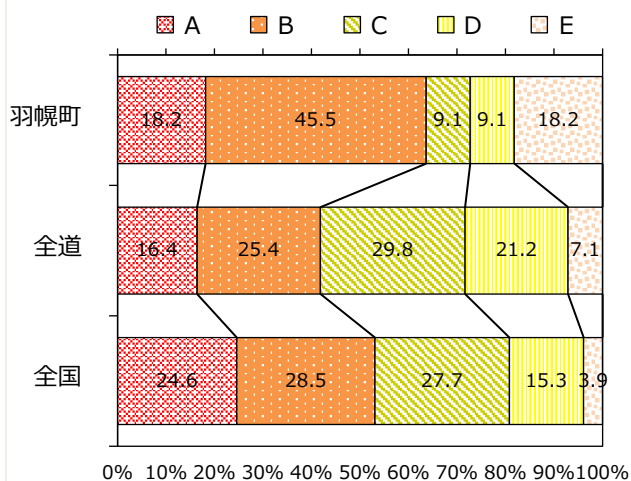
総合評価（男子）



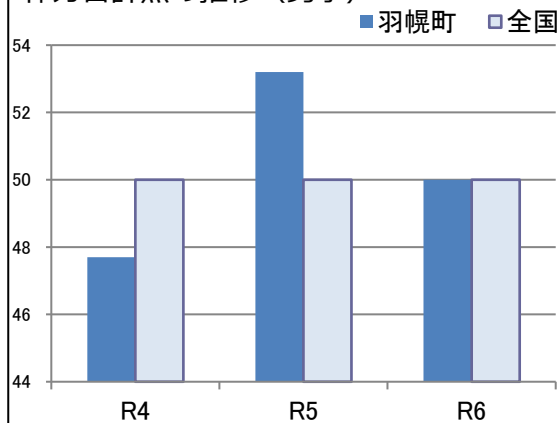
実技調査T得点（女子）



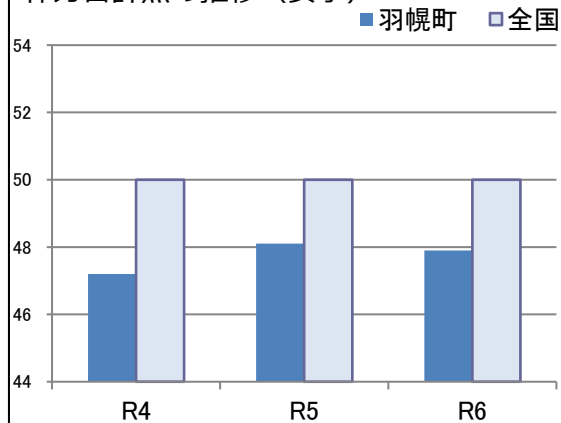
総合評価（女子）



体力合計点の推移（男子）



体力合計点の推移（女子）

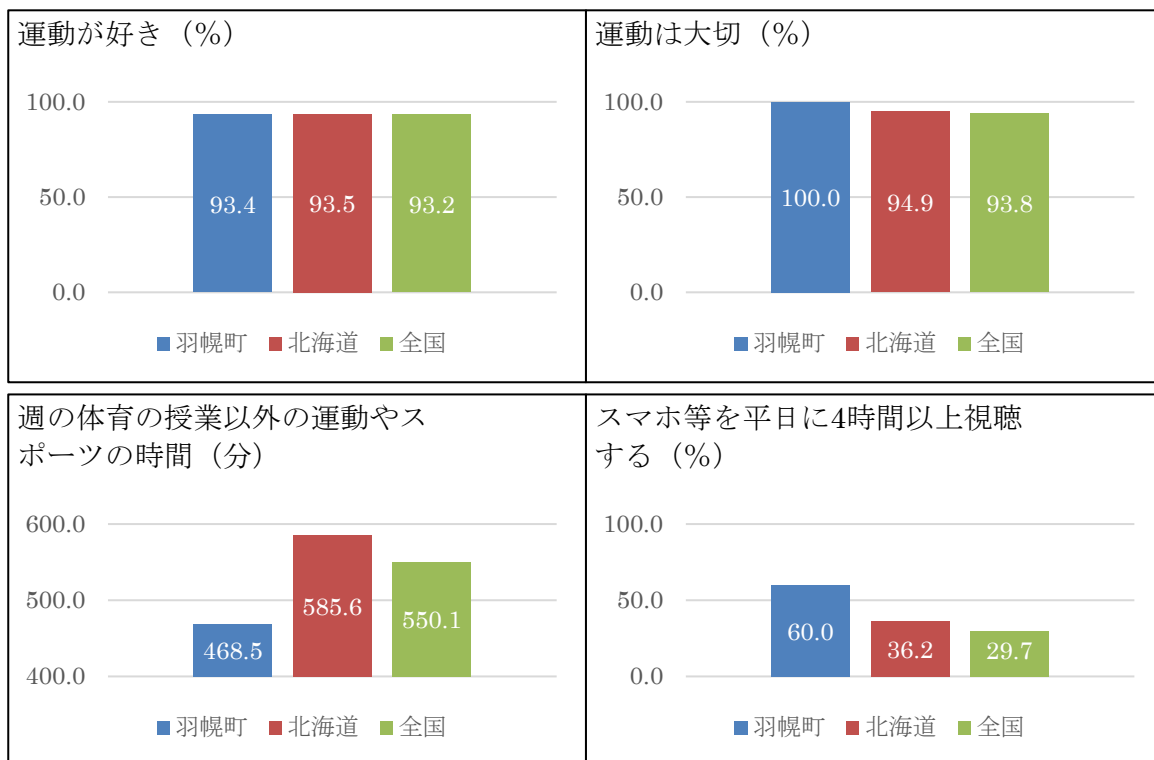


4. 質問紙調査の結果

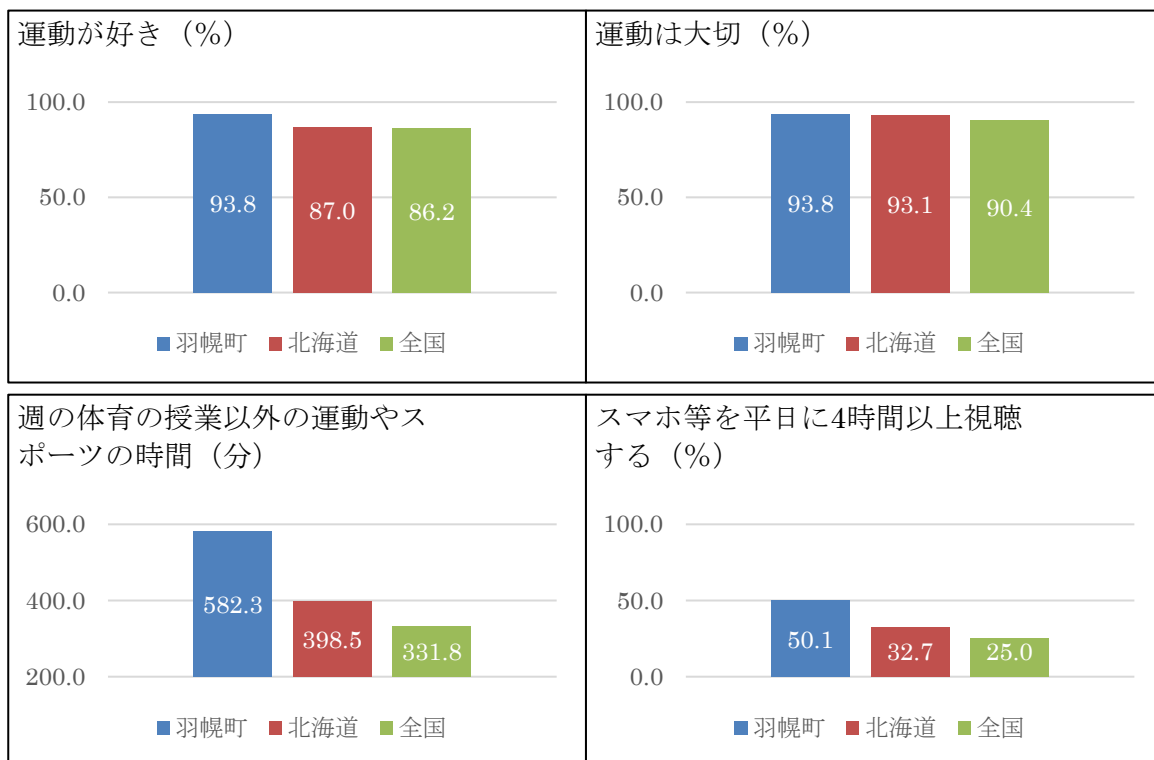
(1) 児童生徒に対する質問紙調査の結果

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査(小学校 18 項目、中学校 18 項目)

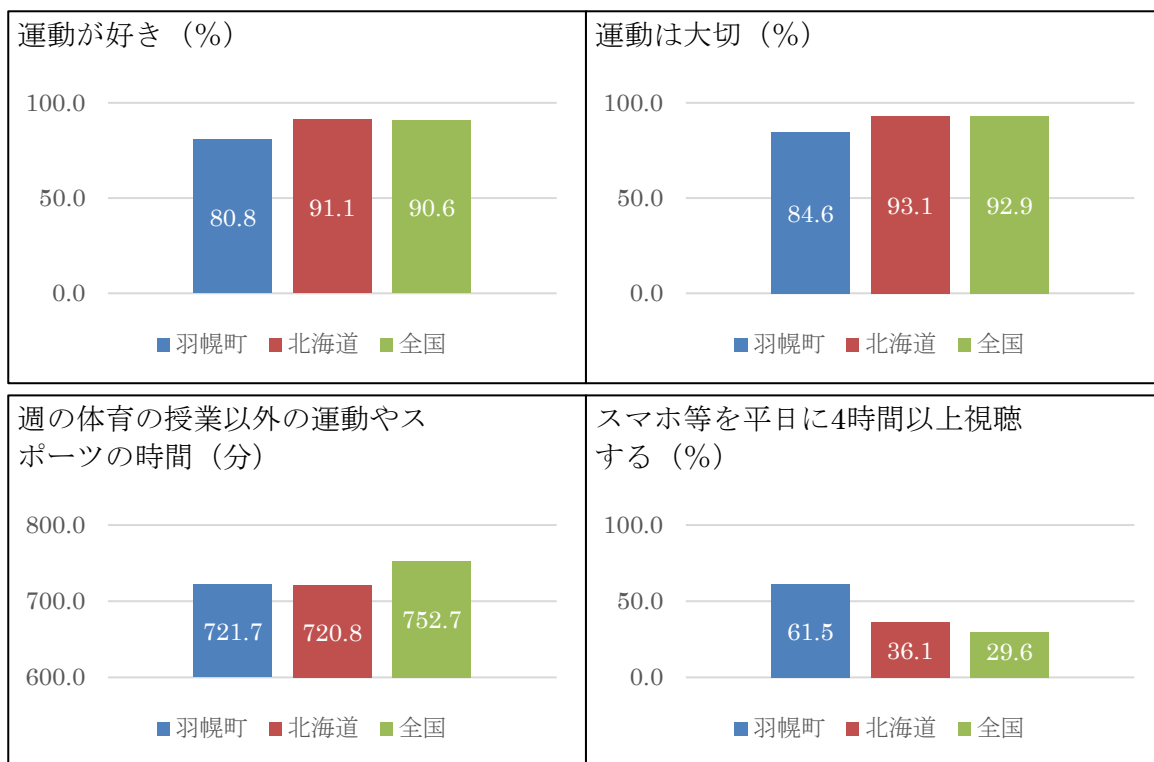
<小学校 5 学年男子：主な回答内容と全国・全道との比較>



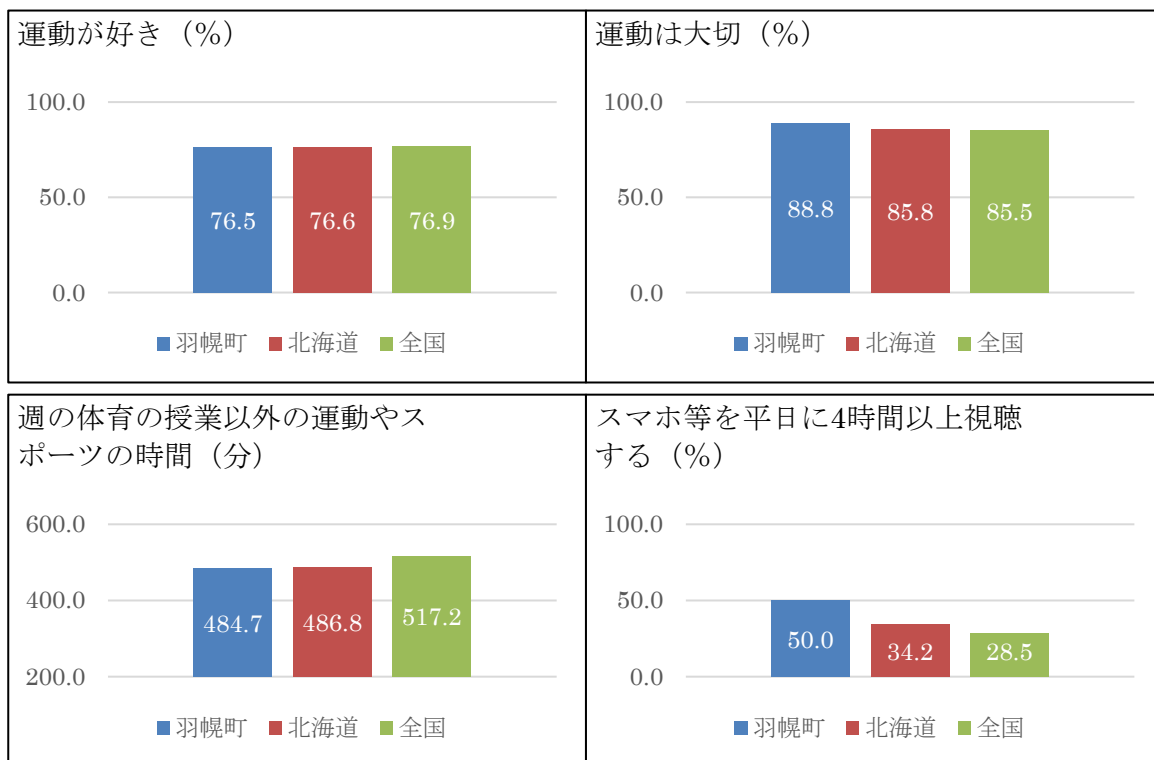
<小学校 5 学年女子：主な回答内容と全国・全道との比較>



< 中学校 2 学年男子： 主な回答の割合と全国・全道との比較 >



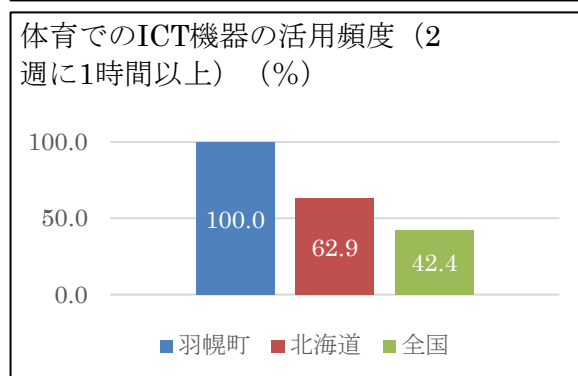
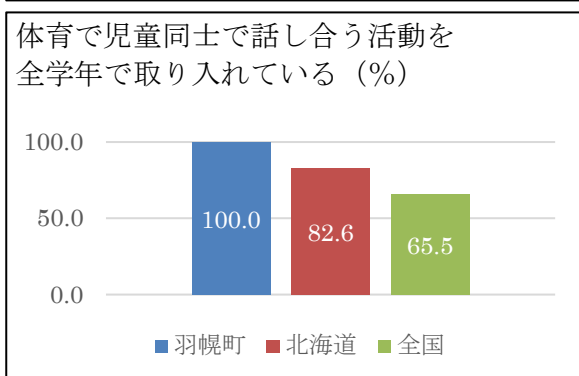
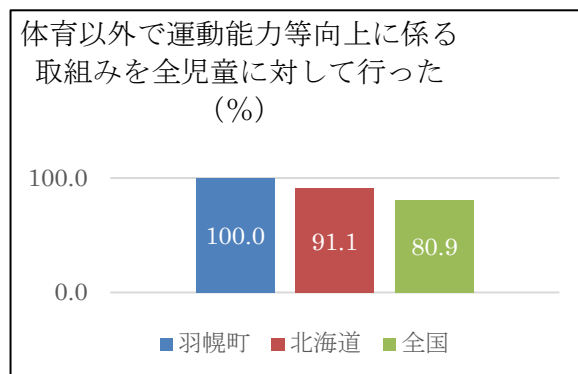
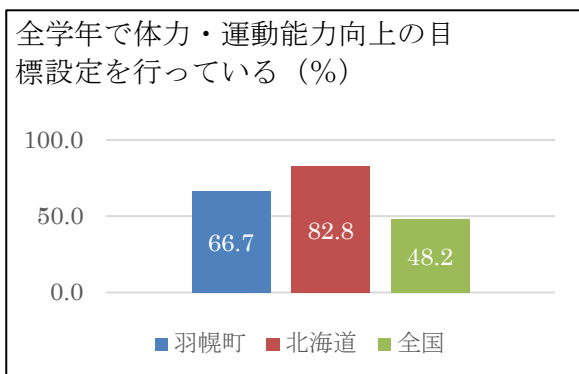
< 中学校 2 学年女子： 主な回答の割合と全国・全道との比較 >



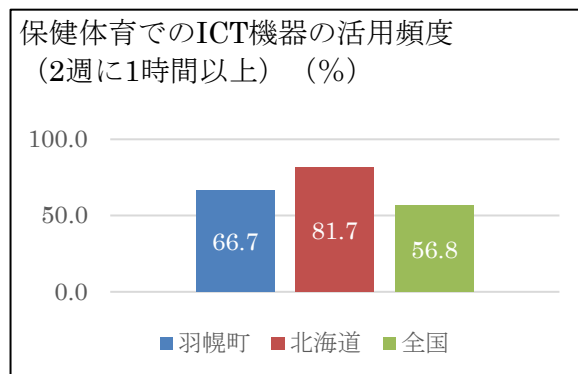
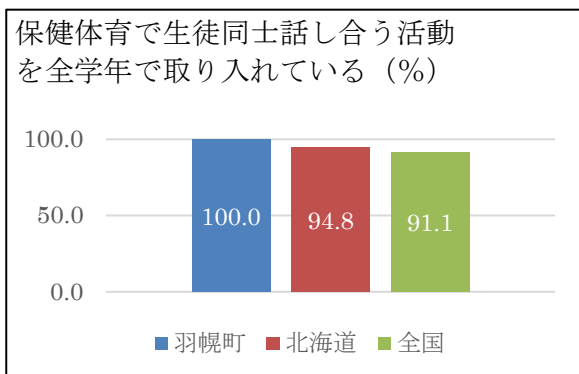
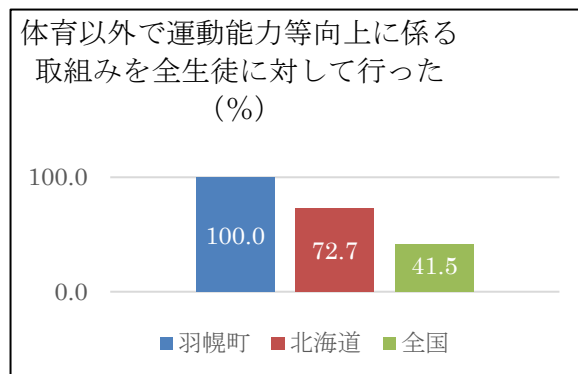
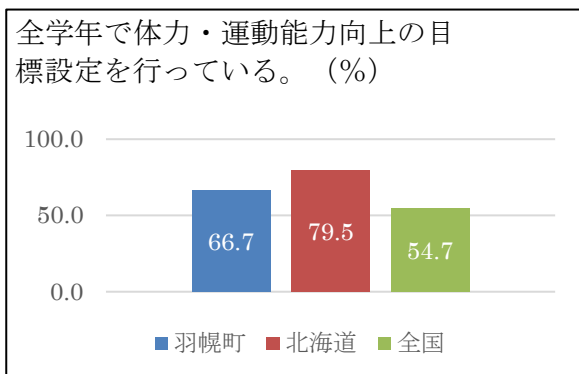
(2) 学校に対する質問紙調査の結果

子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査（小学校 22 項目、中学校 21 項目）

< 小学校：主な回答と全国・全道との比較 >



< 中学校：主な回答と全国・全道との比較 >



5. 総括

<小学校5学年男子>

体格等については「身長平均値」、「体重平均値」共に全道・全国を上回り、「肥満」の割合に至っては全国の2倍の割合を示している。「痩身」に分類される児童は皆無となった。

実技については、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「ソフトボール投げ」の4種目で全道・全国を上回る結果となったが、「反復横跳び」、「50m走」が低調な結果となったことから体力合計点は全国を下回った。

質問紙調査については、運動に対する意識は、全国・全道に比べやや高い水準に位置するが、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」は全国・全道と比較し低く、「スマホ等を平日に4時間以上視聴する」と回答した割合が高いことから、日常的に運動不足である児童の割合が多い傾向であると考えられる。

<小学校5学年女子>

体格等については「身長平均値」、「体重平均値」共に全道・全国を下回り、「痩身」に分類される割合は全道・全国を上回っている。「肥満」に分類される児童は皆無となった。

実技については「上体起こし」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」の5種目で全道・全国を上回る結果となり、体力合計点についても全国を上回った。

質問紙調査については、運動に対する意識は、全国・全道に比べ高く、「スマホ等を平日に4時間以上視聴する」と回答した割合は全国・全道に比べ高いが、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」は大幅に高いことから、日常的に運動する児童の割合が多い傾向であると考えられる。

<中学校2学年男子>

体格等については「身長平均値」、「体重平均値」共に全道・全国を上回り、「肥満」の割合についても全道・全国を上回っている。「痩身」に分類される生徒は皆無となった。

実技については、「反復横とび」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」の3種目で全道・全国を上回る結果となり、体力合計点については全国とほぼ同数値となった。

質問紙調査については、運動に対する意識と「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」が全国・全道と比較し低く、「スマホ等を平日に4時間以上視聴する」と回答した割合が高いことから、意識的に日常の運動をしていない生徒の割合が多い傾向であると考えられる。

<中学校2学年女子>

体格等については「身長平均値」、「体重平均値」共に全道・全国を上回り、「肥満」の割合についても全道・全国を上回っている。「痩身」に分類される生徒は皆無となった。

実技については、「反復横とび」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」の3種目で全道・全国を上回る結果となったが、「20mシャトルラン」、「50m走」が低調な結果となったことから体力合計点は全国を下回った。

質問紙調査については、運動に対する意識は、全国・全道に比べ同水準に位置するが、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」は全国・全道と比較しやや低く、「スマホ等を平日に4時間以上視聴する」と回答した割合が高いことから、日常的に運動不足である生徒の割合が多い傾向であると考えられる。

以上のことから、学校に対する質問紙調査の結果からも読み取れるように、体育授業での ICT 機器の活用、体育授業以外での運動能力等に係る取組みを学校中心に行った結果、小学校 5 年生女子の体力合計点が全国を上回ったと考える。しかし、その他の区分については軒並み体力合計点が前年度を下回ったことから、学校だけでなく家庭等においても運動に対する取組み方法の工夫が必要であると考えられる。

今後の体力向上に向け、体育や保健に関する指導の充実や運動習慣の定着に向けた取組の推進、姉妹都市文化スポーツ交流事業等の遊びや社会体験活動の実施、各種スポーツ教室事業等の生涯にわたりスポーツに接する機会の拡充を行い、学校・家庭・地域が連携した取組みを継続して行っていく必要がある。